

知事要望書

平成24年10月29日

守山区公職者会

平素は、守山区の発展のために格別のご配慮をいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

昭和38年2月15日に守山市と名古屋市が合併し、守山区として発足して以来、約半世紀が経過しようとしておりますが、当区は長く都市基盤整備の遅れた地域としてとどまっております。

その後、小幡緑地公園や県営住宅の整備、矢田川をはじめとする河川整備などを通じて、都市基盤づくりに大きな進展が見られたのは誠に喜ばしい限りであります。

しかし、当区の都市基盤は未だ十分とは言えず、私ども守山区の公職者は、守山区の更なる発展を目指す重要な課題として、次の事項を取りまとめ、要望することといたしました。

大変厳しい財政事情の中ではございますが、平成25年度の予算編成に向け、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

守山区公職者

1 上飯田連絡線の瀬古駅の設置について

名鉄小牧線と名古屋市地下鉄を連結する上飯田連絡線につき、瀬古西部地区のまちづくりの推進を図るため、同地区への瀬古駅設置に向けて努力すること。

2 隣接市の主要街路の整備について

志段味ヒューマン・サイエンス・タウンの建設にともなう自動車交通の増加に対応するため、下条線（春日井市）、霞ヶ丘線（尾張旭市）、上志段味水野線（瀬戸市）など隣接市との主要関連街路の整備を促進すること。

3 小幡緑地公園の整備について

小幡緑地公園が自然を生かした区民を始め広く県民の総合的なスポーツレクリエーションの場となるよう一層の整備を図ること。

また、昭和20年に決定された都市計画について、早期に事業化を図ること。西園にある球技場に、更衣室、ナイター設備等を、テニスコートにはナイター設備等を整備するとともに公園西側にも駐車場を設置し、西園内の「愛ピアおばた」にあるトレーニングルームの夜間利用を可能にすること。

さらに、球技場等について、夏季における早朝利用など、利用者の意見を聴きながら利用時間の拡大を図るなど、より利便性を図るようすること。

4 東谷山の整備について

東谷山の県有林には自然が多く残されているので、付近の東谷山フルーツパークと一体的に、自然と親しむ県民のいこいの場となる整備を進めること。

5 守山警察署の体制強化について

(1) 更なる人口増加が見込まれる守山区の安心・安全を図るため、守山警察署の管轄を見直し、体制を強化すること。

(2) 交通事故の増加や車上ねらい、自転車盗難、空き巣などの街頭犯罪が多発している現状を勘案して、警察官の定数を増員し、パトロールを始めとした体制の強化を図ること。

また、青少年犯罪の防止の観点から、相談窓口を設置するとともに、少年系の体制を強化すること。

6 河川の管理等について

県管理の河川にかかる治水対策を推進すること。

7 防災・減災対策の充実強化について

地震防災対策強化地域に指定されたことにより、あいち地震対策アクションプランが策定されたが、名古屋市と連携を図るとともに、その計画に沿った事前対策や発災時の体制強化を行い、「災害に強いまちづくり」を実施すること。